

# MAMMUT Climbing Competition 2011

文・写真 = 伊藤裕貴

11月12日に今年で6回目となるMAMMUT協賛のコンペMAMMUT Climbing Competitionが開催された。

今大会の参加者は100名を越え、静岡近県以外にも岩手や長崎など遠方の方から参加していただき、日本最大級規模のリードクライミングコンペとなりました。カテゴリはユース(10歳以上18歳未満)、ミドル、マスター、オープンの4カテゴリでユースでは最高グレード5.12c以上はオープンクラスで参加という形式で行われたため、例年よりオープンクラスの参加人数が多く賑わいをみせた。

MAMMUTサポートクライマーによる予選ルートのデモンストレーション2本が行われた後、一斉に全カテゴリの予選がスタートした。

ユース予選1本目は中間部に連続して出てくるスローパーが印象的で終了付近にあるアンダーを処理する部分が核心となった。2本目のルートは6番壁を直登するようなルートでホールドも縦についているものが多く、体をひねるように登り中間部の縦長ホールドの処理が第一核心。上部まで来るとあとは持久力勝負でアンダーホールドが連続する。得手不得手が出たのか両方完登したのはわずか3名で、どちらか一方しか完登できなかった選手がほとんどであった。

ミドル予選1本目はカンテを突き進むようなルートでゴール前に出現するジャミングホールドが印象的なルートで、選手はなれないジャミングでゴールに飛びついていた。予選2本目は同じ壁にあるルートだが下部からホールドも悪く、中間部のハリボテへのハイステップ、乗り込みなどミドルクラスの



選手以外も参加OKの毎年恒例のジャンケン大会でも盛り上がりを見せた



オープンクラス決勝ルート上部を攻める優勝した青木選手このマムートオリジナルハリボテの抓手で決着がついた

予選としてはハードなものとなったが、2人がこのルートを登りきった。

マスター予選1本目はユース2本目と同じルートで行われ、2本目はメインウォールに新品のホールドで用意された。ガバホールドが多く1手1手が遠い。最終ループ部分に設置されたMAMMUT特性ハリボテを抱えるように登っていくのが印象的だった。

オープン予選1本目はマスタークラスの予選2本目と同ルート。さすがオープンクラスと思えるほど、マスタークラスでは完登者ゼロに対し次々と完登していく。2本目は同じ壁に用意されたが1本目とは違いホールドにフリクションがあまり無くパンプしてくる。ホールドをいかにリラックスして持てるかが勝負となり、ゴール前のピンチホールドでの上体の切り替えしがポイントで数名がその部分で完登を逃してしまったようだ。

11月らしい肌寒い空気に包まれ始めた17:00ごろミドル、ユース、マスター、オープンの順に決勝がスタートした。当初の予定ではオープンクラスのみ決勝オンサイト形式だったが多くの大会ルートを用意することができたので、全クラスオンサイトで決勝を行うこととなり、選手は6分間のオブザベーションのあとアイソレーションゾーンへ戻っていった。



- 1 ユース女子入賞者
- 2 ユース男子入賞者
- 3 ミドルクラス入賞者
- 4 マスタークラス入賞者
- 5 オープンクラス入賞者



ミドルクラス決勝はボリュームのあるガバホールドが連続するようなルートで1手1手が非常に遠い下部。中間部からは内容が一転し、ホールドの掛かりは悪くバランスも悪い。ゴール1手前には正方形のスローパーが待ち構え、角・藤田両名の選手がタッチしてフォール。予選も同順位だったので急速スーパーファイナルがマスター予選1本目で行われ1手差で角に軍配があがった。

ユースクラスは6壁からスタートし8壁とリンクする立体面を突き進むようなルート。決勝だけあって下部でフォールする選手は少なく、上部の立体面は1手1手が悪くどこでフォールしてもおかしくない。ゴール手前まで行くことができたのは田嶋のみだったが、完登を惜しくも逃がしてしまった。

マスタークラス決勝はメインウォールに用意されたルート。下部から悪いホールドが続き中間部でほとんどの選手がフォール。バランスの悪い1手で躊躇する選手が続出。次はガバだったので思い切って行って欲しかった。最終ループまで到達したのは相原ただ1人だった。

オープンクラス決勝は6壁からメインウォールに移るようなラインで行われた。スタートの1手が遠いようでオープンクラス最年少の田嶋はこのスタートで4分ほど粘った。粘りに粘った結果、1手目をとることが出来、登り始めるも疲れが出たのが下部でフォールしてしまう。中間部で次々にフォールする中、最終ループ部分に到達したのは青木・大山・小嶋の3名だが、

小嶋はキバ状のホールドを取ってフォールしてしまう。青木・大山の同名はマムートハリボテを抱えるもフォールしてしまう。同高度だったため予選のカウントバックで青木が今大会の優勝をもぎ取った。

恒例のMAMMUTショップのほか、閉会式後にはジャンケン大会などが行われ選手以外の方にも楽しんでもらった1日だったと思います。参加者が多くタイムスケジュール的にもとても厳しく選手の方にはかなりの時間待たせてしまうこともありましたが、皆様のおかげで比較的スムーズに行うことが出来ました。来年もMAMMUT Climbing Competitionを開催したいと考えていますので皆様のご参加お待ちしております。

## Result

ユース男子 田嶋瑞貴  
ユース女子 小川那瑠実  
ミドルクラス 角進矢  
マスタークラス 相原翔平  
オープンクラス 青木文則